



特集1 「山梨のものづくり産業」を担う技術系人材の確保・育成!

活力ある山梨経済を実現するには、県内総生産の約4分の1を占める製造業の活性化は欠くことができません。しかし、若者のものづくり離れや、東京圏の大手企業が採用枠を拡大したことなどにより、本県の製造業では技術系人材の確保が困難になっています。県では、このような状況を踏まえ、今年2月に『暮らしやすさ日本一』の県づくりを支える技術系人材の確保・育成対策アクションプラン」を策定し、産業界や大学などと連携を図りながら、幅広い対策を行っているところです。

甲府工業高校生の企業実習(株式会社 渡辺精機にて)

● 技術系人材の確保・育成対策アクションプランの策定

本県のものづくり産業を活性化させるためには、優秀な技術系人材の確保・育成対策を中長期的な視点で行っていくことが非常に重要です。

平成19年度に、県では、産業界・大学・労働組合などの関係者で構成する検討会議を3回開催し、技術系人材の確保・育成に関する現状の把握や、課題・問題点についての意見交換を行いました。

この検討会議での意見などを踏まえ、

「暮らしやすさ日本一」の県づくりを支える技術系人材の確保・育成対策アクションプラン」を策定しました。

このアクションプランには、「クラフトマン21の推進」など産学官労で連携を図りながら進める17の具体的な施策を掲げています。

このプランに基づき、県内外における人材の確保から優れた人材の育成まで幅広い対策を行っているところです。

● 「山梨のものづくり産業を担う人材」を地元「山梨」で育てる

県立産業技術短期大学校と 県立工業高校の連携強化

アクションプランの施策の一つとして、産業技術短期大学校と工業高校の連携強化が掲げられています。これは本県には高等専門学校がないため、高校と産業技術短期大学校を合わせた5年間で、これと同等な学習プログラムを提供することを目指すものです。

両者の連携を進めるため、今年4月に、産業技術短期大学校と工業高校、

工業系総合学科高校6校の教職員などによる検討会を立ち上げました。ここで、カリキュラムの充実や連携のための新たな方策づくりに取り組み、可能なものは平成21年度から実施します。

この連携強化により、工業高校から多くの生徒に進学してもらい、山梨のものづくり産業を担う人材の充実に図ります。

● 山梨の「ものづくり産業」の現状

本県は、首都東京に隣接し、中央自動車道により、中京・京阪神圏と直接結ばれている立地条件を生かし、内陸型工業県として発展してきました。

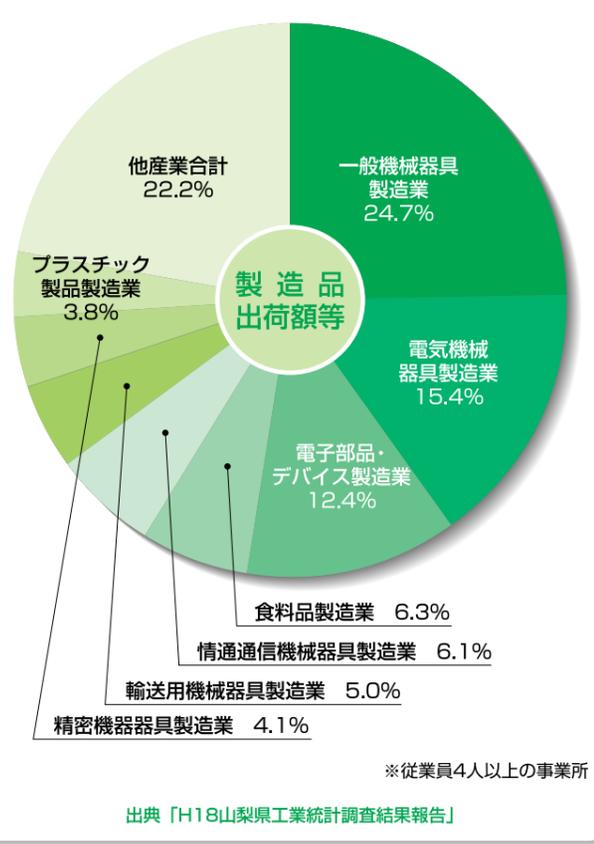
現在、製造業は、県内総生産の25.9%を占める本県の主要産業です。中でも、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業などの機械電子産業の生産額は、本県の製造品出荷額等の約7割を占めています。

特に、半導体製造装置や産業用ロボットでは、全国トップクラスの産業集積地となっています。

しかしながら、近年、国内外で価格や品質の競争が激化し、県内中小企業にも加工技術のさらなる高度化が求められ、それを担う若手技術者の確保・育成が緊急の課題となっています。

また一方では、東京圏の大手企業が景気回復に伴い業務を拡大したり、団塊の世代の大量退職に備え新規卒業者採用を増やしているため、地方では人材確保がさらに難しい状況となっており、企業が他の地域へ工場を移転する要因の一つとなっています。

産業別製造品出荷額等の構成比



● 企業が求める人材を育てる「クラフトマン21」の推進

平成19年度に文部科学省から「ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業」の指定を受け、県内の工業高校(韭崎工業高校・甲府工業高校・谷村工業高校)3校では、「クラフトマン21」が進められています。

平成21年度までの3年計画で、生徒の企業実習、企業技術者による授業内の実践的指導、工業高校と地元企業との共同研究などを行っています。

この事業により甲府工業高校では、民間企業とトラクターの遠隔操作走行システムの共同研究に取り組みなど、企業の技術者が生徒を直接指導し、実践力を養っています。



産業技術短期大学校生産技術科のみなさん



現場で働く技術者からアドバイスを受ける甲府工業高校生



産業技術短期大学校の実習の様子



企業技術者から指導を受ける韭崎工業高校生

● 県立甲府工業高校生の企業実習!!

株式会社 渡辺精機(市川三郷町)にて

「自分のつくったものが、人の役に立つ」…
ものづくりの魅力です!

「ものづくり」って楽しいよ!先輩の一言で、甲府工業高校への進学を決めました。自分のつくったものが、人の役に立つことを想像するだけで楽しくなります。

今回の企業実習では、学校では触れることのできない新しい機械を前にして、県内のものづくり産業のすごさを実感しました。



甲府工業高校 機械科3年
須田未来さん
Miku Suda

基礎を勉強することの大切さを学びました!

ものづくりの職人にあこがれ、工業高校に進学しました。この企業実習では、機械のレベルの高さに驚かされた一方で、高校でしっかり基礎を身につければ、どのような機械も使いこなせることを実感しました。

皆さんが仕事をしている姿を見て、自分をさらに高めていきたいと強く感じました。



甲府工業高校 機械科3年
末木 龍さん
Ryu Sueki

ものづくり産業の現場を見て、感じてほしい。

甲府工業高校では、年に15回ほど「クラフトマン21」の取り組みを行っています。県内のものでづくり産業の現場を実際に生徒たちの目で見てもらうことが目的です。今回は、機械科の3年生5人を引率してきました。企業実習を通して、ものづくりのすばらしさを感じてくれればと思います。多くの生徒が、県内企業に就職し山梨のものづくり産業を担ってくれると、うれしいです。



甲府工業高校 機械科
長田 宇先生
Hiroi Osada



株式会社 渡辺精機 代表取締役
渡辺 紘一さん
Kouichi Watanabe

一人でも多くの人材が、
山梨のものづくり産業を
担ってほしいです。

「クラフトマン21」の取り組みは、とてもいいことだと思います。多くの工業高校生に県内のものでづくり産業の現場を知ってもらい、山梨の工業に関心を持ってもらえる機会です。生徒さんたちは、日々しっかりと勉強をし、技術を身につけてほしいです。工業高校などと産業技術短期大学校で、カリキュラムの充実や連携が強化されると聞いています。

こうした取り組みによって一人でも多くの人材が育成され、県内のものでづくり産業を担っていただけることを期待しています。

● 県立谷村工業高校生

「クラフトマン21」で働くことの意義を学ぶ!!



リールドラム組立(株式会社 市村製作所にて)



二足歩行ロボットの組立作業

● 県立韮崎工業高校

地元企業技術者が出向いて、技術の伝授!!

資格や技術を身につけ自立したい!

ものづくりの魅力は、自分がつくったものを人に使ってもらえることです。技術や資格を身につけ、人に喜んでもらえるものをつくりたいです。テレビなど、多くの人に使ってもらえる製品をつくる会社就職したいと考えています。



韮崎工業高校 システム科3年
喜舎場貴之さん
Takayuki Kisyaba



韮崎工業高校 電子機械科3年
井上裕治さん
Yuji Inoue

ものづくりに興味を
持ったのは祖父の影響!

祖父の働く姿をみて、小学生の頃から将来はものづくりの道へ進もうと考えていました。機械に触れているときは、ワクワクします。少しでも自分を高められるように、これからも一生懸命勉強していきたいと思っています。

本校の卒業生がこの地域のものづくり産業を支えています。



韮崎工業高校 電子機械科
中村一馬先生
Kazuma Nakamura

韮崎を中心とするこの地域にはものづくり産業の企業が数多くあり、若い人材を必要としています。このような地域に、工業高校が存在することは意味があることだと考えています。高校のカリキュラムの中では実習の時間は限られています。それを補うのが、「クラフトマン21」の実習です。きつと、この事業をおして、生徒たちは大きな収穫を得ているはずですよ。

高校時代は技能向上への意識付けが大事!



実技講師
企業技術者(高度熟練技能者)
山崎正弘さん
Masahiro Yamazaki

即戦力となる
人材を育成する
「産業技術短期大学校」

産業技術短期大学校には、ものづくり技術の向上を目指す「生産技術科」「電子技術科」「情報技術科」の3つの理工系学科があります。即戦力となる人材を育成するため、企業が使用している機材と同等のものを使い、実践的な技術・技能の修得に重点をおいた学習を行っています。

また、観光立県山梨ならではの学科「観光ビジネス科」では、ホスピタリティを理念にホテル実習など実践的な授業を行っています。

卒業生に対する評価は高く、毎年多くの企業から求人募集がきています。今までに600人を超える人材を輩出していますが、例年、就職率は100%の実績があり、ほとんどの卒業生は県内企業に就職しています。



甲州市にある産業技術短期大学校

高校では技能検定の実習時間が少ないため、技能を向上させるには、限界があります。私は、施盤3級技能検定のための実技指導を行っています。この講習を通して技能向上に向けた意識付けができればよいと考えています。

目的を持ち社会人になれば、必ず技能は向上します。中小企業が多い本県で、ものづくりの人材を育成するには、行政の継続的な支援が必要です。

「ものづくり」の魅力は、自分の考えたことがカタチになること!!

高校時代に学校説明会に参加し、産業技術短期大学校への進学を決めました。充実した設備で、高校では経験できないことが思う存分学べると感じました。私が、ものづくりの道に進もうと考えたのは、小学校の社会科の授業で民間企業の方から、建設機械を改造して地雷除去活動に参加した話を聞いたのがきっかけです。技術を身につければ、人助けもできる…。

就職は、精密自動機械の開発設計などをしている県内の企業に内定しています。生まれ育った山梨で自分がしたい仕事ができることは、とてもうれしいです。「ものづくり」の魅力は、自分の考えたことがカタチになることです。社会に出た時に、身につけた技術を最大限に発揮できるように、日々勉強です。



産業技術短期大学校 生産技術科2年
甲府工業高校 機械科卒
小林正樹さん
Masaki Kobayashi



産業技術短期大学校 生産技術科
平川洋成先生
Hironari Hirakawa

充実した実習で人材育成!

産業技術短期大学校の授業は、実習が中心です。カリキュラムに企業の要望を取り入れているので、即戦力となる人材育成を行うことが出来ます。また、夜間には、職業人を対象とした「技術力アップ」の講座も開催しています。実際に現場で働く技術者と接することは、私たち指導者にとってもいい刺激になります。

ぜひ、学校説明会に多くの方に足を運んでいただき、産業技術短期大学校の実習設備のレベルの高さを実感していただきたいと思います。

企業のニーズに応えた「オーダーメイド型訓練」を始めました

産業技術短期大学校は、学生だけでなく、職業を持った方がさらにスキルアップするための訓練も実施しています。これらの訓練は、産業技術短期大学校だけでなく、都留高等技術専門学校、峡南高等技術専門学校、就業支援センターでも実施しています。

今年度から、訓練内容に企業の意見を取り入れ、カスタマイズを施した「オーダーメイド型訓練」を始めました。各企業の社員教育にぜひご利用ください。

- 【問い合わせ先】
- 産業技術短期大学校 TEL0553-32-5202
 - 都留高等技術専門学校 TEL0554-43-8911
 - 峡南高等技術専門学校 TEL0556-22-3171
 - 就業支援センター TEL055-251-3210
 - 職業能力開発課 TEL055-223-1567

「山梨のものづくり産業を担う人材」を

確保するために…

東京に「やまなしU・イーターン就職支援室」を設置

本県へのU・イーターン就職を促進するために、今年4月に「やまなしU・イーターン就職支援室」を山梨県東京事務所（都道府県会館内）に設置しました。

「やまなしU・イーターン就職支援室」では、首都圏に進学した学生やU・イーターン就職希望者に対して、就職相談や求人情報の提供、無料職業紹介を実施しています。また、大学などを積極的に訪問し、入学時から、本県出身の学生に県内企業に関する情報提供を行っています。

◆問い合わせ先

やまなしU・イーターン就職支援室
TEL03(5213)2890

県外進学者に「ユースバンクやまなし」

県外の大学・短大・専門学校などに進学した学生のU・イーターン就職を促進するため「ユースバンクやまなし」を今年度創設し、その業務を「やまなし・しごと」

と「プラザ」（県民情報プラザ）で開始しました。「ユースバンクやまなし」に登録した大学生には、インターンシップや個々の企業の魅力、先輩からのアドバイスなど、若い力を必要とする企業の情報やメールで定期的に提供します。

◆登録方法

指定の登録票に記入し、郵送
7月からは県HPからも登録可能
<http://www.pref.yamanashi.jp/>

◆問い合わせ先

「やまなし・しごとプラザ」
TEL055(233)4510

県内3つの大学に「ジョブカフェプラチ」を設置

今年4月から学生の就職活動の支援と県内就職を促進するため、山梨大学、県立大学、都留文科大学に「ジョブカフェプラチ」を設置しました。ここでは、ジョブカフェやまなしから派遣されたキャリアアカウンセラーが、学生からの就職に関する相談を受けたり、就職情報を提供しています。

山梨大学を取材したこの日は、教育人間科学部・工学部の4年生6名が、

企業面接の際の自己PRの仕方などについて、キャリアアカウンセラーからアドバイスを受けていました。

山梨大学に設置された「ジョブカフェプラチ」は、毎週火曜日と木曜日の午後1時から5時まで開かれ、ジョブカフェやまなしから派遣された2名のキャリアアカウンセラーが交代で、学生の就職に関する相談に応じています。

セミナーに参加した学生は、「今までは、大学の先輩から面接の様子とかを聞いていたが、キャリアアカウンセラーの方にいろいろと相談できることは、とても心強い」と、また、キャリアアカウンセラーの方は、学生が就職に迷ったときの手助けになればと、それぞれの思いを語ってくれました。



学生たちからの就職相談を受ける羽村郁子キャリアアカウンセラー



キャリアアカウンセラーからアドバイスを受ける学生たち

「やまなしテクノ企業PRガイド」開催

就職活動前に地元の企業を知ってもらうために、県内外の学生（1〜3年生）を対象にした「やまなしテクノ企業PRガイド」を県内や東京で開催します。



山梨大学の取り組み

平成19年3月の山梨大学工学部卒業生数は、490名。就職した学生は、約半数の260名です（内、県内出身約100名）。県内出身の学生の約7割が県内の企業へ就職しましたが、県外出身者は1割程度しか県内企業へ就職していないのが現状です。

山梨大学キャリアセンターでは、県内企業を多くの学生に知ってもらおうと県や県中小企業団体中央会と連携し、さまざまな取り組みを行っています。今年2月には初めて県と合同で、山梨大学を会場に県内企業を集めた「合同企業説明会」を開催し、多くの大学生が参加しました。また、今年度は、県中小企業団体中央会の協力を得て、工学部の学生約100名を対象に、県内の生産企業の業務、設備を知ってもらうための企業見学を2回開催していきます。

山梨の

「ものづくり産業」を

活性化させるために…

今後、本県経済が持続的に発展していくには、世界レベルの技術水準を持つ「ものづくり産業」の集積・活性化を進めていく必要があります。そのためには、人材の確保・育成に関するさまざまな施策を、これまでに以上に効果的に進めていくことが重要です。特に、人材育成対策は、子どもの頃から職業教育の実践など長期的な視野が求められると同時に、産業界・教育機関、行政、地域社会などさまざまな主体が連携する中で進めていく必要があります。地域の総合力で対応していかなければならない課題です。アクションプランでは、こうした点を踏まえ、初等教育から高等教育までの一貫した職業教育の実施や、産学官労の関係者による検討会議などの開催により、総合的に施策を進めていくこととしています。

【問い合わせ先】

- 「技術系人材の確保・育成対策アクションプラン」に関すること… 商工総務課 TEL055(223)1532
- 「技術系人材の確保事業」に関すること… 労政雇用課 TEL055(223)1562
- 「クラフトマン21」に関すること… 教育庁高校教育課 TEL055(223)1763